

火災共済 まもる君 の日記



Vol. 22 2022年8月

契約者、組合員の皆様

新型コロナウイルス感染拡大以外でも、様々な事件が起こり、大変閉塞感を感じる時代となっています。人は皆「幸福」になりたいと願い、自分らしく・自分のために生きているのに、なかなか「幸福」にはたどり着かないことが多いようです。

・・・そこで、約 2,400 年前・・・

アリストテレスは「ニコマコス倫理学」でこう説いています。「倫理」とは幸運を「幸福」にするための「徳」を取得する訓練だと。「徳」とは「節制」・「正義」・「勇気」・「賢慮」の 4 つと説いています。「幸福」になるためには「倫理」が必要なのです

(百日紅の花)



(SENSHU TOWEL 1887 阪急西宮ガーデンズ店)



泉州タオル®



泉州こだわりタオル®

同商標は、大阪タオル工業組合の登録商標です。当組合員が、大阪・泉州地域で「生産」したものにのみ表示されます。

ごあいさつ

大阪府火災共済協同組合

専務理事 大川 肇

最近毎年自然災害が猛威を振っています。昨日も大雨で山形の最上川が氾濫して被害が起きています。もともと日本列島は極東に位置し、火山が多いため、世界的にも災害が多く、また近年、地球温暖化の影響で自然災害の件数が明らかに増加しています。今まで自然災害が少なかった大阪におきましても、4年前の台風 21 号や大阪北部地震で例外ではないことが認識されたと思います。私たちは、代理所と連携させて頂き、会員や組合員の皆様と直接お会いして、「いつ起こるかもしれない」災害対策のためにどのようなコースをお持ちかお聞きしながら、お客さんに満足して頂けるアドバイスや共済商品の提案をおこない、アフターフォローもしっかり行っていきます。先行きが見えない社会情勢になっていますが、こういう時こそ、共済の基本理念である「助け合い」の精神を活かし、「いつ起こるかもしれない」災害対策のお役に立てたいと思っております。



代理所紹介 コーナー

●大阪タオル工業組合 理事長 田端 純一郎

【設立】 1952年 【組合員】 82社 (令和2年4月末現在)

【所在地】 〒598-0006 大阪府泉佐野市市場西1丁目8番8号
TEL 072-464-4611 Fax 072-464-9419

当組合はタオルの生産調整を目的として発足、設立されて以降、国内外の価格競争に勝ち抜くため、泉州タオルの特性を活かした「地域ブランドづくり」、「アンテナショップ」による広報PR、販売開拓の強化に取り組んでいます。泉州タオルは後晒製法（織った後で「さらし」の工程が入るので、リは洗い流され吸水性のよいタオルになります）で作られています。明治20年から続く大阪タオル産地（日本のタオル生産の発祥の地）では、吸水性が良く清潔で肌触りも良い後晒タオルの製法を一貫して守り通してきました。この製法などの品質の高さをアピールできる「地域ブランドづくり」の強化、確立に取り組むとともに、「泉州タオル」、「泉州こだわりタオル」の商標登録認定制度を導入するなど活発な活動を展開しています。また、泉佐野市内の2か所に、アンテナショップ「泉州タオル館」を立ち上げ、新作・新商品の展示・販売をおこなう他、毎年、東京・大阪での「泉州こだわりタオル展」の開催や、「泉州タオルの日」キャンペーン、WEBサイト「泉州タオル from 1887」等で魅力発信を行っています。また、2020年11月には、「SENSHU TOWEL 1887 阪急西宮ガーデンズ店」を立ち上げ、新しい地域での「泉州タオル」の魅力発信と販路開拓に取り組んでいます。

(水口 剛志 さん)



(亜登夢ミート さん)



(鳥内氏とむつみ会橋本副会長)



問い合わせ先

[組合名]大阪府火災共済協同組合

[住所]大阪市中央区南船場 1-18-17 商工
中金船場ビル 6階

[電話] 06-4708-8720

[FAX] 06-6267-7222

[電子メール アドレス]

h_okawa@fukasai.or.jp

www.fukasai.or.jp

● 代理所担当者の紹介

● 富田林商工会 水口 剛志 さん

自己紹介

富田林商工会の水口剛志と申します。火災共済は、入社した平成28年から担当させて頂いております。担当当初は、お客様から「万が一の火事のお守りに」といったお声が多かった印象でした。しかし、ここ数年は全国各地での自然災害の発生やBCPの重要性の高まりに伴い、被害にあった際の事業の復旧計画についての話題や相談が増えており、共済業務の重要性を今まで以上に感じております。また、コロナウイルス感染症等もあり、経営を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、地域の事業所を支えられるよう努めてまいります。

(会員さんの紹介)

店 名：亜登夢ミート

住 所：富田林市寺池台 1-9-206-110

定休日：日曜日午後、月曜日

南海高野線金剛駅近くの金剛銀座商店街にあるお肉屋さんです。様々なお惣菜もあり、特におすすめなのが、ローストビーフとお店で揚げるお肉たっぷりの肉コロッケです。また、無煙ロースターの無料貸出し付きのバーベキューセットもおすすです。

● 組合情報 コーナー ～ むつみ会主催で講演会を実施

講師 鳥内秀晃 氏 関西学院大学アメリカンフットボール部 前監督 「分業制スポーツにおける組織論」

鳥内氏は関西学院大学アメリカンフットボール部前監督で、当組合の代理所の大阪府製麺商工業協同組合の元理事長でもあります。また、2018年日本大学と関西学院大学の定期戦での反則タックル問題時の監督です。鳥内氏は関西学院大学で選手として活躍された後、指導者を目指しアメリカでコーチ留学され、その後監督として大きな実績を残されました。今回は人を育てるという観点から、講演を行っていただきました。

アメリカンフットボールは分業制のスポーツです。試合に出る選手だけでなく、マネージャー、コーチ、分析スタッフ、栄養担当など、さまざまな後方支援がいて、初めてチーム力が高まります。部員の内約3割がスタッフであることが望ましいと言われていいます。最初は選手を目指して入部した部員も、適性により、それぞれの役割でチームに貢献するのかわかれることとなります。葛藤を超えて選手を残念して、スタッフに移る場合もある。厳しい選択ではあるが、それぞれが自分の役割に誇りを持って全力で取り組むことで初めて日本一を目指すチームができる。

大事なことは、自分で考え、自分で判断していくことです。

鳥内氏が考えられた、分業制スポーツにおける組織論で大切なことは、①主体的に行動すること～目標設定、PDCAの徹底、OODAループを組織でも個人でも回すことで現場で臨機応変に対応できるようにする。②人材育成～答えを与えず、気付を与え、自分で学習する習慣をつけること。

一言でいえば、一方的に教えるのではなく「自分で考える力をつけさせるということ。」が最も重要であると説かれています。

● 組合スケジュール

・令和4年9月、11月 役員会